

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭57—4373

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 43 K 7/08

識別記号  
厅内整理番号  
6845—2C

⑬ 公開 昭和57年(1982)1月9日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ インク逆流防止機構を備えたボールペン

東京都練馬区上石神井 2—1650

⑮ 実 願 昭55—79908

ゼブラ株式会社  
東京都新宿区東五軒町11番地

⑯ 出 願 昭55(1980)6月10日

⑰ 代 理 人 弁理士 大関和夫

⑱ 考 案 者 関口和彦

⑲ 実用新案登録請求の範囲

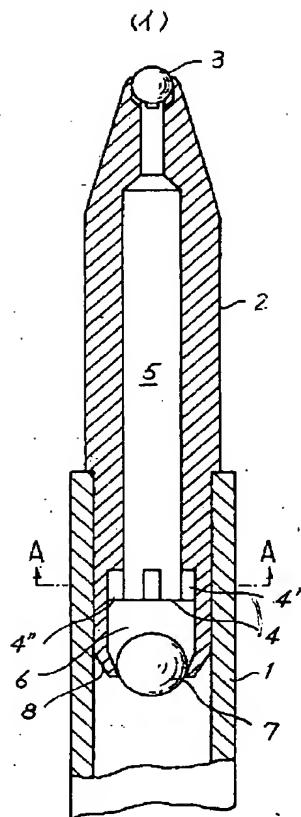
インク収容管1と、之に嵌挿されるチップ2とからなり、チップ2の後端側には、先端の転写用ボール3にインクを供給するインク流路5に連通する拡径された内腔部を有しかつ端部に弁座8を有する弁室6が段部4を経て形成されており、弁室6内には弁用ボール7が遊動自在に収納され、しかして弁用ボール7はチップ2が上向きの状態において自重により弁座8上に座して弁座8の開口9を閉塞してインクの逆流を防止し、チップ2が下向き状態において自重により段部4上に乗り、その際段部4に形成したインク溝4'を通つてイ

ンク流路5へのインクの供給が可能であるようにしたインク逆流防止機構を備えたボールペン。  
図面の簡単な説明

第1図イは本考案のボールペンの上向時におけるチップ本体およびインク収容管の一部の縦断面図、第1図ロは第1図イのA—A線矢視図、第2図は本考案のボールペンの書写時における同上縦断面図である。

1：インク収容管、2：チップ、3：転写用ボール、4：段部、4'：インク溝、5：インク流路、6：弁室、7：弁用ボール、8：弁座、9：開孔。

第1図



第2図

